

# 第62回三島市美術展 入賞者一覧

平成26年6月22日現在

## 【日本画の部】

	目録No	氏名	題名	
市長賞	15	北村 康郎	浄	100号変
議長賞	18	下田 りさ	春の日	F30号
教育長賞	16	永井 清勝	“ひととき”	F20号
実行委員長賞	8	山田 淳子	秋光	F50号
舜堂賞	10	高橋 ふみ子	窯出し	20号
奨励賞	4	杉山 清弘	心象富士	F20号
奨励賞	9	石福 参朗	光と影の習作	10号
市民選賞	15	北村 康郎	浄	100号変

### 〔審査員講評〕

市長賞の「浄」は作者の内面が力強く感じ凜とした画面作りだと思う。議長賞の「春の日」は色調がとても光を感じる良い作品と思われた！はじめに出会った感動や思いを素直に表現する事が大切に思います。ぜひ想像と趣(おもむき)のある画作りを今後期待したい！

審査員 大場 茂之

今年の作品群は、バラエティーに富んだ内容となりました。市長賞をはじめ、精神性と芸術性を追求したものが多く、今日の混沌とした社会の中で、絵を通じて真剣に取り組む姿が感じられ好感が持てた。

技法的には、さらに創造的に描く工夫も大切で、工芸的な絵に固まらずに観る人を楽しくさせるような表現も見られるようになり、今後も期待したい。

審査員 松山 英雄、奥田 貞子

## 【洋画の部】

	目録No	氏名	題名	
市長賞	30	吉田 庄三	大社詣	73×92cm 水彩
議長賞	20	栗田 隆	倒木	59×77cm 木版画
教育長賞	17	佐藤 和代	奇跡のリンゴ	F60号 色鉛筆・水性マジック
実行委員長賞	23	榛村 典和	天空の窓	F30号 油彩
舜堂賞	52	市村 千恵子	パサディナの紅葉	P80号 アクリル
奨励賞	3	外川 雄章	湧水の流れ	F50号 油彩
奨励賞	6	吉岡 まき子	サマーガーデナー	50号 パステル画
奨励賞	14	山本 邦浩	ありふれた日常	F50号 油彩
奨励賞	15	安藤 幸子	吉野山蔵王権現	S60号 油彩
奨励賞	40	高橋 恵子	f	F50号 油彩
奨励賞	56	佐野 章夫	海底を掘る船	S50号 油彩
市民選賞	3	外川 雄章	湧水の流れ	F50号 油彩

### 〔審査員講評〕

今回は上位賞の選考で特に「ドキッ」とする作品が無かった。市長賞の「大社詣」は小品だが水彩絵の具の処理が良く描写力があり参拝者の気持ちが人物群の中から伝わってくる。全体的に静かなおとなしい作品が多く、もっと己の気持ちを画面にツツケル様な元気のある絵を期待する。

審査員 小池タケシ

市民展にたくさんの方々が応募してくださって大変うれしく思いました。人物、静物、風景など、バラエティーに富んでいました。どの作品も画面構成を工夫したり、色彩豊かに描いている作品が多く感心しました。これからも、充実した市民展になるよう多くの方々が応募してくださることを期待します。

審査員 世古 明子

今年度は作品点数は増加したものの、市長賞以下5賞は小品で質の高い作品が多かった。しかし過去のトップ賞は100号から50号の作品がほとんど受賞作品であり、意欲的な作品が多かったが、風景や日常生活を中心とした庶民的なテーマが増え、テーマ性のある創作作品が少なくなり残念です。

描くこととは自己表現したいものとの戦いである。

審査員 中荻 幸治

## 【彫刻・工芸の部】

	目録No	氏名	題名	
市長賞	14	風間 正博	吹泥壺	陶芸
議長賞	19	長澤 武司	銅象嵌茶筒 山法師	銅鍛金
教育長賞	3	池田 マサヨ	農が育むもの	布アップリケ
実行委員長賞	7	中川 正美	茶筒	木
舜堂賞	9	栗野 逸子	雄姿	日本刺繍
奨励賞	1	中野 弘子	夏の日差しを浴びて	樹子粘土
奨励賞	6	榊 知恵子	陶板画 静物	陶板画
市民選賞	3	池田 マサヨ	農が育むもの	布アップリケ

### 〔審査員講評〕

大きい作品に掛ける労力は作品への思いとなって現れます。作品の完成度の高いものは求心力があります。その二点から評価させていただきました。

個々の楽しみの中から生まれて来る作品は自由で生き活きとしています。これからも既存の作品にとらわれることなく自分らしく制作していただきたいと思います。

審査員 今野登志夫、近藤 宏克、藤井 慎介

## 【写真の部】

	目録No	氏名	題名
市長賞	54	杉山 吉弘	畔
議長賞	22	久保田 義博	三島夏まつり
教育長賞	29	鈴木 由美子	初秋風の頃
実行委員長賞	44	古澤 久志	瑠璃色の朝
舜堂賞	3	清水 久美子	優しい光の中で
奨励賞	4	松尾 栄彬	静寂
奨励賞	11	飯田 英代	2人だけの時間
奨励賞	12	宮澤 幸代	風車の散歩道
奨励賞	15	伊藤 正義	仲よし
奨励賞	26	長島 弥	去りゆく人
市民選賞	19	黒岩 琢雄	黎明

### 〔審査員講評〕

上位作品は表現が良く、平均してレベルアップしていると感じます。被写体にも作者の主張が明確であると思う。出来ればカメラアングル等に冒険しても良いのではと感じます。

審査員 遠藤 行保

デジタル時代に突入して、撮影からプリント出力まで自宅で出来ます。これにより撮影者の表現が上がり、ダイレクトに広がり、写真の楽しみ方が大きく変わり、より良い作品が多く応募されています。反面、PCの操作で少し迷いのあるプリントが応募されています。迷いのある時は作品プリントに力を入れている写真店がありますので依頼をしてみてもいいかでしょう。その違いを確認できます。

審査員 大角 勝

入賞された作品は、それぞれに仕上がりを想定して自分の伝えたい事をしっかりと表現していると思います。作品を拝見していると、作者の心情がうかがえ、じっくりと見入ってしまいます。

審査員 中西 敬三

## 【書道の部】

	目録No	氏名	題名
市長賞	25	佐野 幸楓	かくとだに
議長賞	13	鈴木 翠香	遊少林寺
教育長賞	32	加藤 里楓	杜甫詩
実行委員長賞	28	杉本 敏子	陰鏗詩
舜堂賞	9	熊谷 まゆみ	さくら花
奨励賞	20	森 翠功	送邢桂州
奨励賞	21	笹津 治子	運
奨励賞	27	土屋 玉楓	百合の花
奨励賞	30	蓬生 翠風	元稹詩
市民選賞	35	前島 右海	鳥魚

### 〔審査員講評〕

全体の作品数が、昨年よりやや少なめで残念だった。作品の大きさは、大小種々でバラエティーに富んでいた。作風の中で、特に少字数の作品が少なかったのが惜まれる。更に多数の出品を希望したい。

審査員 鈴木 玉翠、増田 花峰、山田 翠峯